



昔の相模の国・武蔵の国を訪ねて

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日:令和 4 年 5 月 4 日(水)

集 合:港南スポーツセンター前

解 散:港南スポーツセンター前

行 程:港南スポーツセンター前→日の立体交差→正応寺→野庭新明神社

→野庭中央公園(昼食)→八体地蔵尊→春日神社→日野中央公園

→港南スポーツセンター

野庭神明社

本社の由緒は不明。明治末期に時の地頭弁礼遠江守勝久が白幡社建立し村の鎮守であったが、いつの頃からか、「神明社」に変わった。

現在の社殿は昭和五十年代、野庭団地造成に伴い、現在の地に移され、横浜住宅供給公社の手で再建されたものです。

さて、日野の鎌倉街道ぞいの、もと浄岸寺のあった場所に、八体のお地蔵さまが、仲良く並んでいます。地蔵は、六体で一組というのが普通ですから、ふしぎな数といえます。

実はそのうちの二体は、前には厄除地蔵の両脇にあった小さなお地蔵さまがここにうつされたものです。

【こうなん道ばたの風土記】より

八体地蔵尊

そのむかし、この港南の山あいに住む人々が、魚を口にできるのは、鎌倉から魚売りがやって来る時だけでした。

魚売りは、新鮮な魚といっしょに、町での出来事や、他の村であった事など楽しい話を、たくさんもってきました。ですから村人はいつも、この魚売りが来るのを、心待ちにしていました。

ある日のことです。小坪道にさしかかった魚売りは、追いはぎにあい殺されてしまいました。家族を残して、離れた土地で命を絶たれるのは、とてもくやしかったことでしょう。

村人たちは、この魚売りの死をたいへん悲しみ、自分たちも生活が苦しいのに、わずかずつのお金を集めて、お地蔵さまを建て、魚売りの霊を慰めようと思いました。折りしも、そのころは日照りが続き、お米が実らない年が続きました。村人たちは、このお地蔵さまを、「厄除地蔵」と呼び、しだいに心のささえとするようになりました。

日野中央公園

日野中央公園は明るく開放的な芝生広場を中心に、池や野球場、テニスコートなどの運動施設があります。野球場およびテニスコートは市民に広く利用されています。園内には子ども向けの遊具や大人向けの健康器具があります。芝生広場を周回する園路は、高低差が少ないため、ジョギングやウォーキングなどに適しています。

横浜市には31か所の飛行場外離着陸場がありますが「日野中央公園」はその1つに指定されています。災害時のヘリコプター離着陸ができ周辺の災害復旧活動に供することができます。



第150回 古民家歴史散策 (栄区周辺散策)

港南区編 相模の国(野庭)・武蔵の国(日野)を歩く 2022年5月4日実施



正応寺



野庭新神明社



八体地蔵尊

六道
天人 修畜 餓地
道間 羅生 鬼獄
道道 道道 道道

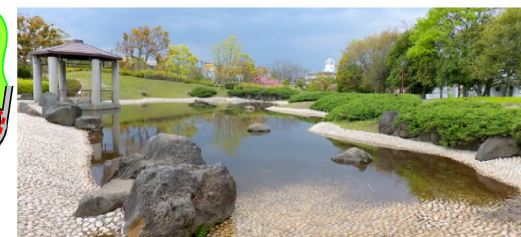
〔港南歴史カルタ〕
一体増え六道護る
八体地蔵

本郷ふじやま公園古民家歴史部会



総行程: 5.0km

- 1 港南スポーツC. 1300m
- 2 正応寺 1000m
- 3 野庭中央公園 昼食 1100m
- 4 清水橋 600m
- 5 日野中央公園 1000m
- 6 日野中央公園入口



日野中央公園

04-09
03-17
03-16
03-05

dimson